

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 行動科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1 人間・社会科学の諸分野において主要な検討課題となってきた「人間と社会のマイクロ＝マクロ過程」について理解し、それをどのように実証的に研究すべきかについて論理的に文章で表現できるかを評価する。</p> <p>問2 基礎的な統計解析の手法を、実践的な場面で正しく適用できることを確認する。</p> <p>問3 社会心理学及びその近接領域において研究を遂行する上で必要な専門用語に関する基礎知識を評価する。</p>

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 行動科学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 3枚を配付する。

- ・ 問1から問3まですべてに答えなさい。
- ・ 解答用紙は1問につき1枚を使用すること。
- ・ 解答の際には問題番号を明記すること。

問1 社会は複数の人間の相互作用を通じて構成され、また翻って社会はそこに暮らす人間の行動に影響する。こうした人間と社会の相互影響プロセスは総称して「人間と社会のマイクロ＝マクロ過程」と呼ばれ、社会心理学を始めとした人間・社会科学諸分野における主要な検討課題となってきた。

それでは、こうした問題を実証的に明らかにするためには、どのような研究を行うべきだろうか。a) 「実証的である」とはどういうことかを踏まえつつ、b) 具体的な研究例を紹介しながら、あなたの考えを論じなさい。

問2 以下の問題を読み、問いに答えなさい。

以下のような実験が行われた。

- 1) 40名の参加者が同一の課題を5回繰り返して行い、その反応が測定された（たとえば参加者は5日間に渡って毎日1時間、決まった時間に実験室を訪れ、同一の記憶再生課題に回答したと考えよ）。
- 2) 課題での参加者の反応は、0～100の範囲の値を取る尺度で測定された。
- 3) 参加者の半数が条件A、残りが条件Bへと無作為に割り振られた。
- 4) さらに各条件の参加者は、XとYのいずれかの条件に無作為に割り振られた。

この実験の結果、以下のようなデータが得られたものとする。参加者IDとは特定の参加者を表す番号で、1～40の値を取る。条件①は参加者が条件AとBのいずれかを指し示す名前、条件②は条件XとYのいずれかを指し示す名前である。

参加者 ID	条件		1回目の課題 での反応	2回目の課題 での反応	3回目の課題 での反応	4回目の課題 での反応	5回目の課題 での反応
	①	②					
1	A	X	23	35	30	22	40
2	A	X	10	14	18	20	25
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
11	A	Y	48	60	72	68	65
12	A	Y	28	40	60	65	68
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
21	B	X	55	69	72	71	80
22	B	X	60	55	68	62	70
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31	B	Y	62	65	71	66	78
32	B	Y	50	54	58	59	65
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

あなたは以下の仮説を立てた。

- 仮説1：条件Aよりも条件Bにおいて、課題での反応が大きい。
- 仮説2：条件Xよりも条件Yにおいて、課題での反応が大きい。しかしこの差は条件Aの下でのみ得られ、条件Bの下では反応に差がない。
- 仮説3：すべての条件において、課題を繰り返す回数が多いほど、課題での反応は大きくなる。

以上3つの仮説をそれぞれ検証するためには、どのような分析を行えば良いだろうか。それら具体的な手順について詳しく述べなさい。なお、1つの仮説を検証するために複数の分析を考えつく場合は、思いついた分析をすべて述べなさい。

問3 次の6つの語句すべてを簡潔に説明しなさい。

- 1) 道徳基盤理論 (moral foundations theory)
- 2) 血縁淘汰 (kin selection)
- 3) 認知的不協和理論 (cognitive dissonance theory)
- 4) さずかり効果 (endowment effect)
- 5) 第一種の過誤 (type I error) と第二種の過誤 (type II error)
- 6) 真の模倣 (true imitation)